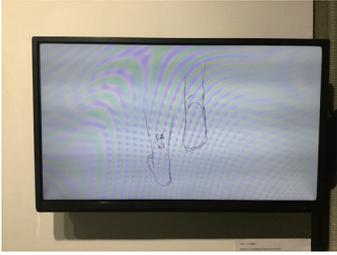


張小舟「たのしいなこのひ、たのしくないなこのひ」 補足

BOAT ZHANG | it is a happy day, it is not a happy day

はい～いいえ散歩

Forever I'm walk towards yes and no



英訳は、永久にはいい、といいえ、に向かって歩いている、と題された映像作品。人生においては前に向かって歩き続けることは、肯定と否定の繰り返しである。逆を返すと、肯定するだけでは人生は立ちゆかず、あるいは否定するだけでも前に進むことはできない。物事を肯定する一方で人はそのことをどこかで否定もしている、ある正しさを信じ、その方向へ向かおうと思う一方ではその正しさを疑っている。ループされるこの映像作品において彼女はどのように矛盾を抱えたまま進むしかない自己をなぞらえている。同時にこの矛盾の構造とは今回の展示全体を貫くキーになっている。

11月の落ち葉のために、11月のアロマポートのために

For the fallen leaves in November, for the Aroma Port in November



3つのシーンから構成される映像作品。(トータルで40分) シーン1と2は赤や黄色に紅葉した落ち葉を拾い集める映像。3つめのシーンで彼女は色とりどりの落ち葉を土の上に敷き詰めているのだが、よくよく見ると落ち葉を拾っている映像を逆再生した映像であることが次第に分かってくる。

様々に解釈が開かれた作品である。タイトルに寄り添って述べると、香港＝アロマポートのことがこの作品の核にある。アロマポートという呼び名で香港を呼ぶことはほとんどない。これは彼女が作った造語だ。中国ではネット上などで検閲を逃れるためにイメージや言葉を様々な方法を使ってカムフラージュするという習慣がある。香港のことをアロマポートと呼ぶことは、中国国内で香港のことをおおっぴらに話すことが憚られている現状を暗に示している。

彼女は地面に敷き詰められた色とりどりの落ち葉を香港で傷ついた人々になぞらえる。映像の中で彼女はそれらを拾い集め、元の、自然にあった状態のように大地の上に戻していく。

面白いなこの日、面白くないなこの日

It's a Funny day, It's not a funny day



パフォーマンス映像と扇風機、それとサウンドで構成。後ろ向きで扇風機の風の動きに反応して動き続けるパフォーマンス映像。サウンドは彼女の友達の子供が自作した歌「面白いなこの日、面白くないなこの日」を子供が歌うそのあとについて、彼女もそれに倣って歌うというもの。ここで彼女が行っているのは自分の意志や判断ではなく盲目的に「他者」に従うということだ。扇風機の動きを目で見ることなく、風の動きを感じることで動き続けること。子供の作った日本語の歌を中国人である彼女がその発声をただ真似て歌うこと。作品の見かけの可愛らしさの裏には、他者が作ったシステムに翻弄される人間の姿が暗に示されている。映像の中で、個人は次第に増幅して、多くの人々＝社会となる。社会はたった一つの動き(扇風機)によってただただ翻弄され続けている。

バナナ人

Banana man



2018年のリバプールビエンナーレの関連企画として招聘されたレジデンスプログラムにおいて制作された。彼女がリバプールに着いてみて驚いたのは街にホームレスが多いことだった。彼女はバナナを毎日ホームレスの人々に配って回ることにした。1日に10本くらい、すべてのバナナには「Beautiful world, where are you?」（美しい世界、あなたはどこ？）というリバプールビエンナーレのタイトルが刻まれている。

ビエンナーレという華やかな舞台。富裕層や、アートラバーが闊歩する街の裏では路上で暮らしている人が大勢いるという世界の不条理を彼女は目の当たりにする。「美しい世界」とは誰に向けて投げかけられる言葉なのだろうか？彼女は路上の視点に立って、そしてバナナを配って歩いた。

ロトのガールフレンド

Lot's girlfriend



上海ビエンナーレ 2018 出品作品。雪原の中後ろを振り返りながら「Look forward (前を向いて)」と 1000 回言い続けるパフォーマンス映像。前を向いてと言いながら後ろを振り返るので、言葉と行為とは矛盾している。タイトルの元になっているのはギリシャ神話のロトの妻の話である。街に災いがもたらされることを知った預言者たちは、ロトの家族に街から逃れることを進言する。しかし、その際に「決して後ろを振り返ってはならない」と言われたにもかかわらず、街から逃げ出す際に後ろを振り返ってしまったロトの妻は石になってしまう。

このパフォーマンス映像において、前は未来、後ろは過去を暗示する。後ろを振り返ってはならない、前を見ろ、と言い聞かせるように彼女は叫び続けるものの、実際は同じ地点で後ろを振り返り続けている。

一つの観点から述べると、この作品はアーティストとして、中国人として、女性として、現代に生きる彼女が抱える不安を反映している、ということもできるだろう。「アーティストとロトの妻の間に違いはありますか」と彼女は問う。過去、あるいは従来の価値観に囚われている限り前に進むことはできないものの、そのことにとられない人間はいない。あるいは、現代に生きる我々とは彼女のパフォーマンスのように「前を向いて」と自分を鼓舞しながらも、前進しているようでただ後ろを振り返り続けているだけなのかもしれないのだ。

ナイーブアーティスト、ぶきっちょ魔術師

naive Artist, clumsy magician-the first magic

対馬アートファンタジア 2019 において制作、出品。2016 年から毎年彼女は対馬に通い続けているが、今年の夏に再び彼女が対馬を訪れてみると、宿舎の窓から見える山並みの風景が新しくできた東横インによって分断されていた。そこで彼女はある「マジック」を使って、東横インを消してしまおうと試みる。